

一般社団法人横浜すぱいす 行動規範

「できる人」が「できる時」に「できる事」に取組み、『生きがい』と『感謝』の関係をつくり、「規範意識」と「相手を思う気持ち」の醸成で横浜市民・学校等を支える

【理念】

本法人は、子どもにかかわる横浜市内の多彩で素敵な人材や企業等を「つなぎ」ます。

【人権の尊重】

子どもの健全育成に寄与することを理念とし、子どもの権利条約に基づいて行動します。

【信頼の獲得】

分野や地域を越え、様々な素敵な体験活動やコミュニケーション活動を通して横浜の教育の充実に向けた事業を行います。

【従業員の就業環境整備】

学校の教職員、指導者及び保護者等の素敵なプログラムに関わる指導者が共に育つ（共育の）機会を提供し、生きがいと感謝の関係をつくります。

【相互発展】

指導者養成及び活用並びにそれぞれの手法を持つ機関や団体間の交流・コーディネートを行い、「生きがい」と「感謝」を引き出します。

【研究開発】

学校教育及び子どもの放課後に関わるエビデンスに基づいた素敵なプログラムを提供するために、アンケート調査等の調査・統計を通して、実際の子どもたちの姿等と照らし合わせながら、変容等についてPDCAサイクルに基づいた研究を推進していきます。

【出資者・資金提供者の理解と支持】

横浜市内を中心としたあらゆる学校、民間機関、団体、企業及び政府や地方公共団体とのパートナーシップの確立を図り、WIN WIN の関係を大切にします。

【地域との共存】

after コロナ、そして、21 世紀の新しい時代の中で、子どもたちの活力ある未来を応援し、地域の中に根付いていく活動を実施します。

【法令の遵守】

法令に基づいて、利益追求ではなく、社会に貢献することを目的とします。

【環境との対応】

横浜市が推進する SDGs に沿った事業を展開します。

【政治・行政との健全な関係】

学校も行政の出先機関であり、区役所・社会福祉協議会等と連携して事業を進めます。

【反社会的勢力への退所】

社会的秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力・団体に対しては、毅然とした態度で対処し、一切の関係を遮断します。